

第211期末 (2023年10月10日)

基準価額 10,036円

純資産総額 25億円

第206期～第211期
(2023年4月11日～2023年10月10日)

騰落率 11.9%

分配金合計 1,090円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター 0120-762-506

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



NISSAY
ASSET MANAGEMENT

ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ／パトナム・ グローバル好配当株式オープン

【愛称】12のどんぐり

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

作成対象期間: 2023年4月11日～2023年10月10日

第206期(決算日2023年5月10日) 第209期(決算日2023年8月10日)
第207期(決算日2023年6月12日) 第210期(決算日2023年9月11日)
第208期(決算日2023年7月10日) 第211期(決算日2023年10月10日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／パトナム・グローバル好配当株式オープン」は、このたび第211期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイ／パトナム・グローバル好配当株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く各国の株式に分散投資をすることにより、安定した配当収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で運用報告書(全体版)をダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【ダウンロード方法】上記ホームページ→ファンド検索→ファンド名入力→ファンド詳細ページ→運用レポート→運用報告書(全体版)

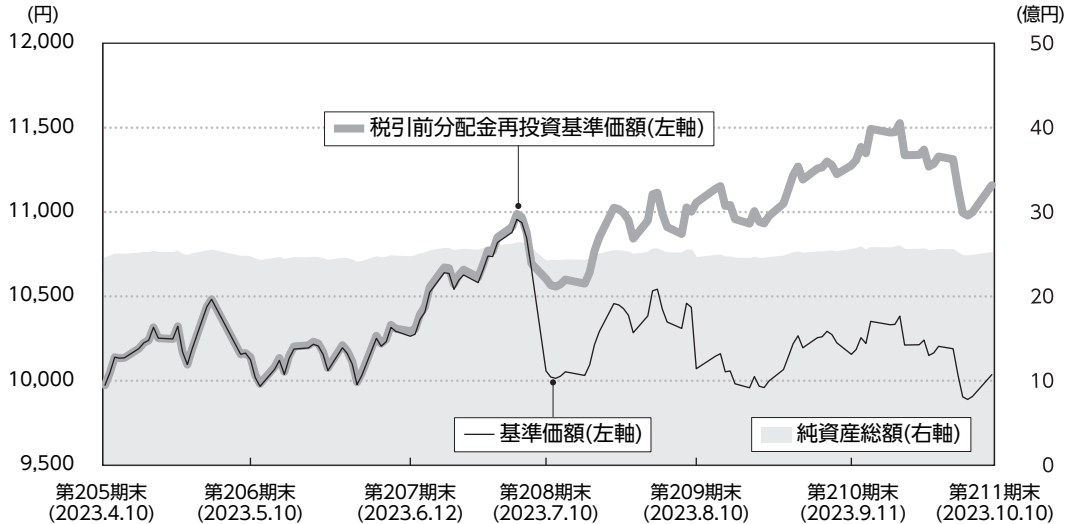
UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

運用経過

2023年4月11日～2023年10月10日

基準価額等の推移



第206期首	9,973円	既払分配金	1,090円
第211期末	10,036円	騰落率 (分配金再投資ベース)	11.9%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 6月初旬から7月上旬にかけて、米地銀の経営破綻を受けた金融システム不安に対する過度な警戒感が後退したことや米連邦準備制度理事会 (F R B) による利上げ停止観測が広がったことなどから株価が上昇したこと
- ・ 8月25日のジャクソンホール会議における F R B 議長の講演内容が全体的に金融引き締めに慎重な姿勢であると受け止められ、9月中旬にかけて株価が上昇したこと

<下落要因>

- ・ 7月中旬に米インフレ指標が軒並み鈍化したことを受けて米ドルが対円で下落したこと
- ・ 9月下旬から当作成期末にかけて、金融引き締めの長期化などを懸念して株価が下落基調で推移したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第206期～第211期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	77円	0.752%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <p>期中の平均基準価額は10,261円です。</p>
(投信会社)	(39)	(0.384)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(34)	(0.329)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(4)	(0.038)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	1	0.009	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$ 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
(株式)	(1)	(0.009)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
有価証券取引税	2	0.016	$\text{有価証券取引税} = \text{期中の有価証券取引税} / \text{期中の平均受益権口数}$ 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(2)	(0.016)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
その他費用	3	0.026	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.021)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	82	0.803	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

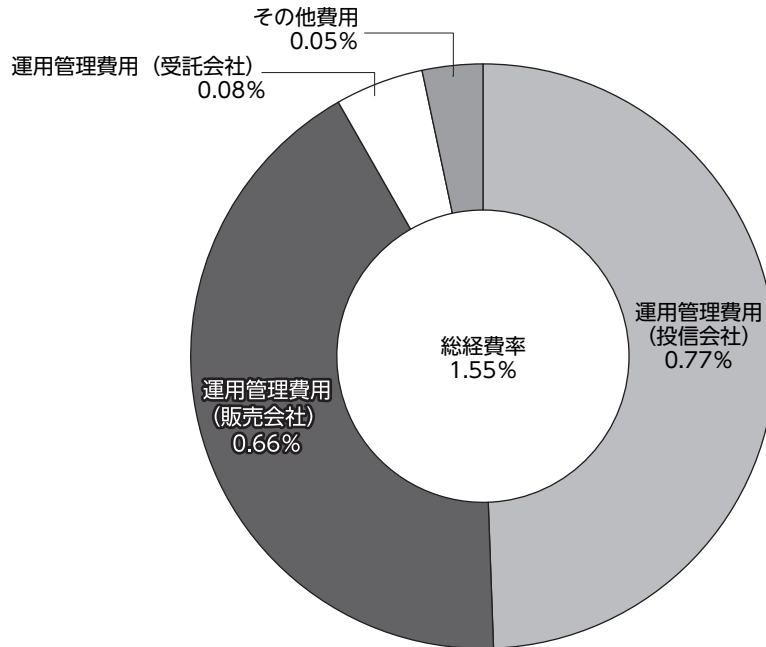
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.55%**です。



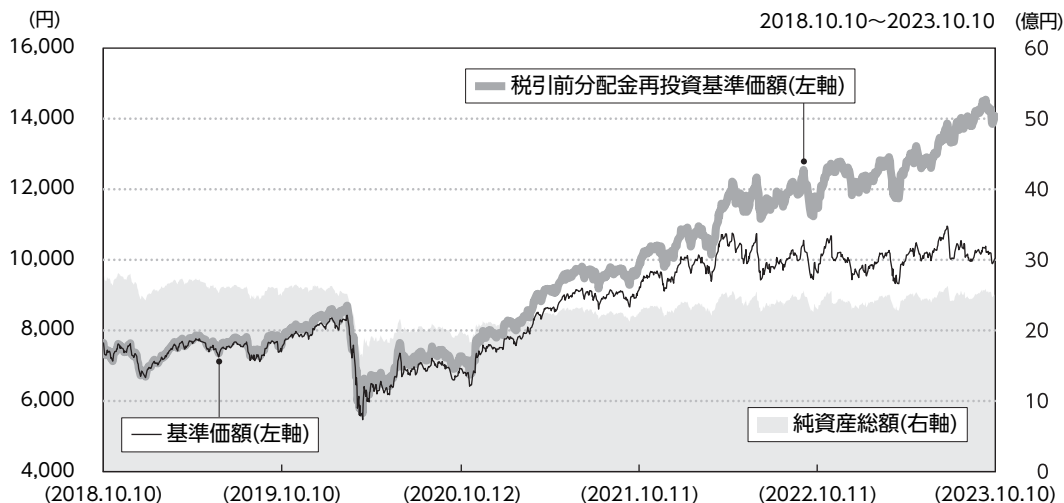
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、2018年10月10日の基準価額にあわせて再指数化しています。

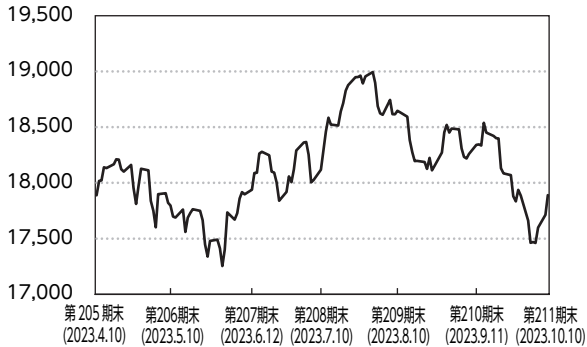
(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日		2018年 10月10日	2019年 10月10日	2020年 10月12日	2021年 10月11日	2022年 10月11日	2023年 10月10日
基準価額（分配落）	(円)	7,645	7,423	6,910	9,154	9,646	10,036
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	180	180	180	1,080	1,680
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△0.5	△4.5	35.3	16.9	22.5
参考指数騰落率	(%)	—	△5.9	△4.0	38.2	13.2	15.6
純資産総額	(百万円)	2,839	2,498	1,983	2,244	2,302	2,510

(注) 参考指数はMSCIコクサイ・インデックス バリュア（配当込み、円換算ベース）です。なお参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

投資環境

■ 海外株式市況

【MSCIコクサイ・インデックス
バリュー（配当込み、米ドルベース）の推移】

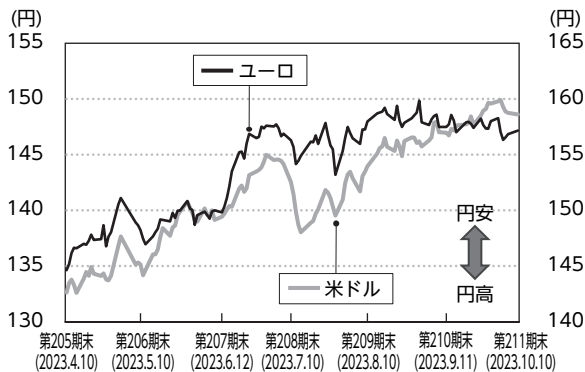
(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

海外株式市場は当作成期を通じて見ると、ほぼ横ばいとなりました。

当作成期初から5月下旬にかけては、米地銀の経営破綻を受けた金融システム不安が浮上したことなどから株価は下落しましたが、その後は上記不安に対する過度な警戒感が後退したことやF R Bの利上げ停止観測が広がったことなどから上昇しました。8月上旬から中旬にかけては、米大手格付会社による米国債の格下げと米金融引き締め長期化への懸念から株価は下落しましたが、その後は8月のジャクソンホール会議におけるF R B議長の見解が全体的に金融引き締めには慎重な姿勢であると受け止められたことから反発しました。当作成期末にかけては、金融引き締めの長期化などを懸念して再び下落基調で推移しました。

■ 為替市況

【為替レートの推移】



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

当作成期の米ドル／円レートは米ドル高円安となりました。

7月中旬に米インフレ指標が軒並み鈍化したことを受けて米ドルが対円で下落する場面もありましたが、追加利上げに積極的なF R Bと金融緩和を継続する日銀との政策スタンスの違いや堅調な米経済指標などから、当作成期を通じて米ドル高・円安基調で推移しました。

当作成期のユーロ／円レートはユーロ高円安となりました。

金融引き締め姿勢を継続する欧州中央銀行（E C B）と金融緩和を継続する日銀との政策スタンスの違いなどから、当作成期を通じてユーロ高円安基調で推移しました。

ポートフォリオ

■当ファンド

マザーファンド受益証券の組み入れを高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドと必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

個別銘柄については安定した配当収益を確保でき、かつ企業業績に比べて割安な銘柄を中心とした組み入れを継続しました。

業種配分については、情報技術などを引き上げ、公益事業などを引き下げました。当作成期末では組入比率の高い順に金融（22.0%）、ヘルスケア（14.5%）、エネルギー（11.9%）としています。

国・地域別配分については、アメリカなどを引き上げ、カナダなどを引き下げました。当作成期末では組入比率の高い順にアメリカ（51.5%）、フランス（13.8%）、イギリス（9.8%）としています。

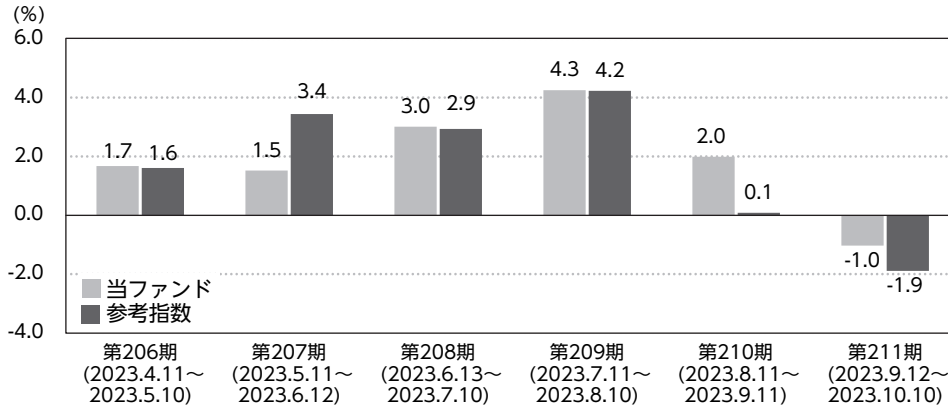
配当水準については、当作成期末時点におけるポートフォリオの平均配当利回りは4.1%です。これは日本を除く世界株式（MSCI コクサイ・インデックス）の平均配当利回りの約2.0倍の水準であり、当作成期を通じて市場平均を上回りました。

(注1) 業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。以下同じです。

(注2) 比率は対純資産総額比です。

(注3) 平均配当利回りは、発表済み配当金額をベースにパトナム社が算出した各組入銘柄の予想配当利回りを時価総額加重平均したものです。

参考指数との差異



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はMSCIコクサイ・インデックス バリュエ（配当込み、円換算ベース）です。

当作成期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+11.9%となり、参考指数騰落率（+10.7%）を上回りました。

これはマザーファンドにおいて、ヘルスケアや資本財・サービス、公益事業セクターでの銘柄選択などがプラスに影響したことなどによるものです。

（注1）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注2）参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

分配金

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第206期	第207期	第208期	第209期	第210期	第211期
	2023年4月11日 ～ 2023年5月10日	2023年5月11日 ～ 2023年6月12日	2023年6月13日 ～ 2023年7月10日	2023年7月11日 ～ 2023年8月10日	2023年8月11日 ～ 2023年9月11日	2023年9月12日 ～ 2023年10月10日
当期分配金（税引前）	15円	15円	515円	415円	115円	15円
対基準価額比率	0.15%	0.15%	4.87%	3.96%	1.12%	0.15%
当期の収益	15円	15円	306円	415円	115円	8円
当期の収益以外	—	—	208円	—	—	6円
翌期繰越分配対象額	1,091円	1,220円	1,012円	1,022円	1,104円	1,098円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く各国の株式に分散投資をすることにより、安定した配当収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

賃金インフレへの圧力などから高いインフレ率が続く懸念は根強く、対処するFRBの金融引き締め姿勢に変化はないとみられることから、今後も米国を中心とした金融政策の引き締め動向が主要なファクターになると見込みます。高インフレと高金利水準により景気への下押し圧力が強い状況ですが、企業の経営活動が保守的になる環境は継続しており、引き続き金融市場の不安心理が大きくなりやすいことから、過度な楽観には注意が必要であると判断しています。景気は減速しつつも良好な雇用環境が景気の下振れリスクを緩和し、金融引き締めの転換が図られることがベストシナリオではありますが、さまざまなリスクがくすぶっていることから、その要素に細心の注意を払う場面が続くと考えています。高インフレと高金利水準の環境下において株式のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）は株価の押し上げ要因にはなりづらく、個々の企業業績を中心としたファンダメンタルズ（基礎的条件）に着目した物色やセクターローテーション（景気の局面ごとに有望な業種別銘柄群に投資対象を切り替えていく戦略）の激しい動きが続く可能性が想定されます。

このような状況の下、銘柄選択については業績面から見た株価が過去の水準や同業種内において割安であり、キャッシュフローが強固で財務状況が健全、かつ安定的でより高い配当を期待できる銘柄に引き続き注目して投資を行います。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

	第211期末 2023年10月10日
ニッセイ／パトナム・グローバル好配当株式マザーファンド	99.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

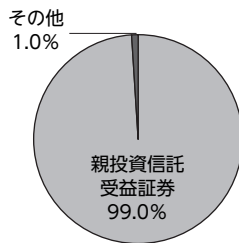
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

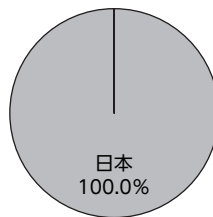
項目	第206期末 2023年5月10日	第207期末 2023年6月12日	第208期末 2023年7月10日	第209期末 2023年8月10日	第210期末 2023年9月11日	第211期末 2023年10月10日
純資産総額	2,458,382,959円	2,460,296,666円	2,408,990,401円	2,450,157,764円	2,546,721,257円	2,510,592,472円
受益権総口数	2,427,970,583口	2,397,006,151口	2,395,089,470口	2,432,900,141口	2,507,567,747口	2,501,650,547口
1万口当たり基準価額	10,125円	10,264円	10,058円	10,071円	10,156円	10,036円

(注) 当作成期間（第206期～第211期）中における追加設定元本額は231,160,594円、同解約元本額は184,735,188円です。

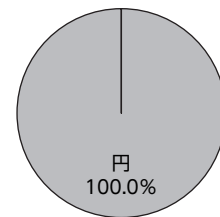
資産別配分



国別配分



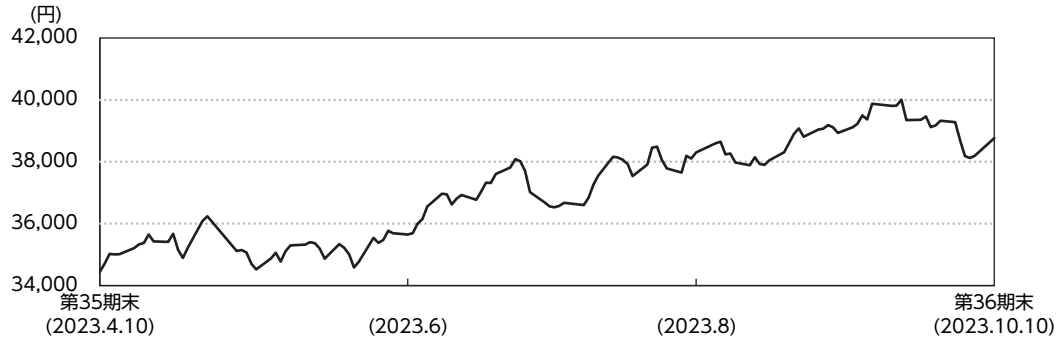
通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年10月10日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ／パトナム・グローバル好配当株式マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

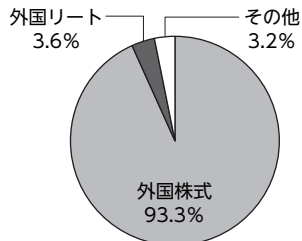
銘柄名	通貨	比率
SANOFI	ユーロ	5.9%
ZURICH INSURANCE GROUP AG	スイス・フラン	5.1
AMGEN INC	米ドル	3.8
CHEVRON CORP	米ドル	3.7
AXA SA	ユーロ	3.2
BP PLC	イギリス・ポンド	3.2
NRG ENERGY INC	米ドル	3.2
GSK PLC	イギリス・ポンド	3.1
EATON CORP PLC	米ドル	2.9
ROYAL BANK OF CANADA	カナダ・ドル	2.9
組入銘柄数		46

■ 1万口当たりの費用明細

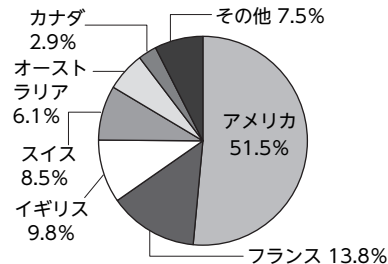
2023.4.11～2023.10.10

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	3円 (3)
(投資信託証券)	(0)
有価証券取引税 (株式)	6 (6)
(投資信託証券)	(0)
その他費用 (保管費用)	8 (8)
(その他)	(0)
合計	18

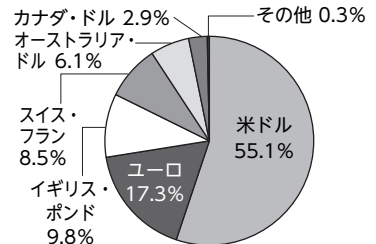
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



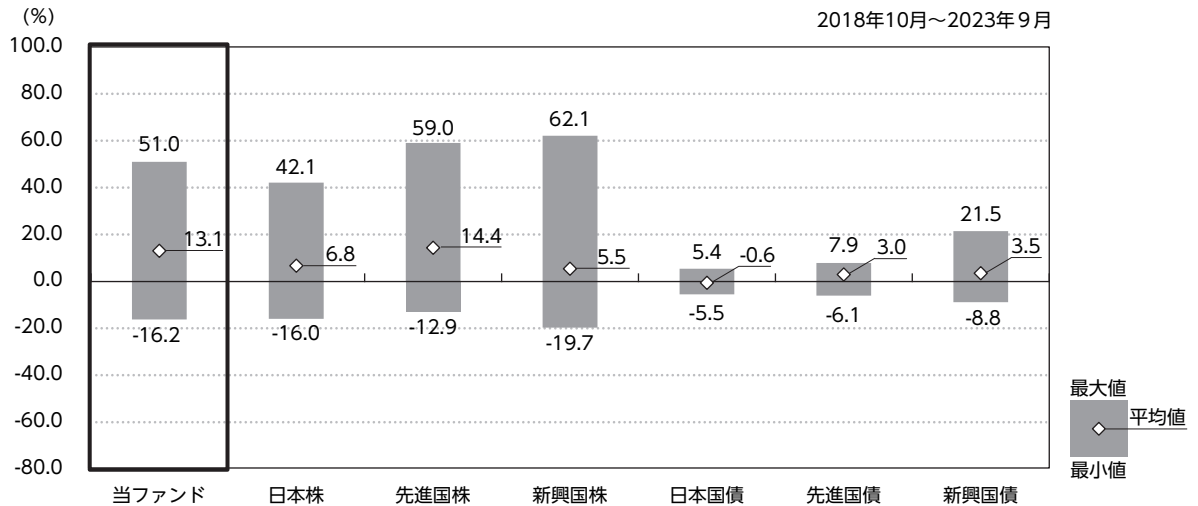
(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年10月10日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

参考情報

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、当ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

<代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数>

- 日本株・・・TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

*各資産クラスの指数につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

指数に関して

■ ファンドのベンチマーク等について

- ・ M S C I コクサイ・インデックス バリュール（配当込み、円換算ベース）
M S C I コクサイ・インデックス バリュールは、MSCI Inc.が公表しているインデックスです。同インデックスに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。

■ 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
- ・ M S C I コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ M S C I エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P I 国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産は同社に帰属します。なお、同社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ・ J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイドは、J P モルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

お知らせ

■参考指数の変更について

設定来の参考指数を「MSCI コクサイ・インデックス バリュウ（円ベース）」から「MSCI コクサイ・インデックス バリュウ（配当込み、円換算ベース）」に変更しました。

(2023年10月10日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	2006年2月28日～2026年4月10日	
運 用 方 針	ニッセイ／パトナム・グローバル好配当株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く各国の株式に分散投資をすることにより、安定した配当収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ／パトナム・グローバル好配当株式オープン	ニッセイ／パトナム・グローバル好配当株式マザーファンド受益証券
	ニッセイ／パトナム・グローバル好配当株式マザーファンド	日本を除く各国の株式
運用方法	ニッセイ／パトナム・グローバル好配当株式オープン	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ／パトナム・グローバル好配当株式マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。 原則として配当等収益等を中心に安定分配を行うことをめざします。また売買益が発生した場合には、配当等収益に売買益等を加えた額から分配を行います。分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。	